

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

令和2年5月発行 No.338

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

号数表示を通し番号に変更

第1号は平成23年1月の発行

日本のお手玉の会の広報は、長年にわたり1年に1回発行する会報『おてだま』が唯一のものでした。

このことについて、全国の支部長会議で、「会報だけでは、情報量が少な過ぎる。もっとたくさんの情報が欲しい。」という要望がありました。

そこで、平成23年7月から、月報の形で毎月、A4の用紙1枚に収まる情報を提供していくことになり、『たまちゃん通信』がスタートしました。内容は、全国の各支部の動き、お手玉に関係するいろいろな情報、会員からの情報提供などを、掲載することにしました。

第1号では、当時発行されて話題になった、日本のお手玉の会顧問の中原和彦医学博士（ヘルスアートクリニックくまもと院長）が書かれた「『お手玉をする』とうつ、パニック障害が治る」（マキノ出版）を紹介しています。

ほかには、NHKテレビ金曜バラエティー「競演！空中バラエティー」に出演する、日本のお手玉の会師範代の小田原允宏さんの紹介と、JA岡山県女性繊維協議会のみなさん150人が、お手玉競技をしているところを紹介するテレビ番組「ナニコレ珍百景」の紹介でした。

月に1件から2件の発行からスタートし、多い月で8号、平均して3号が発行され、これまでに337号が発行されました。号数の表示は月ごとに「100-1」「100-2」といった表示でした。その表示を、今月号から通し番号で表示することに変更します。この号の表示は「No.338」です。（写真左上：第1号、左下：第31号・レイアウトが変わりました。『教育新聞』で「お手玉」が取り上げられたことが紹介されています。写真右：この号からカラー写真を採用・新居浜商業高校の生徒さんが、お手玉を持って福島県浪江町を訪ね、浪江高校の生徒さんと一緒に仮設住宅でお手玉交流をした記事です）

